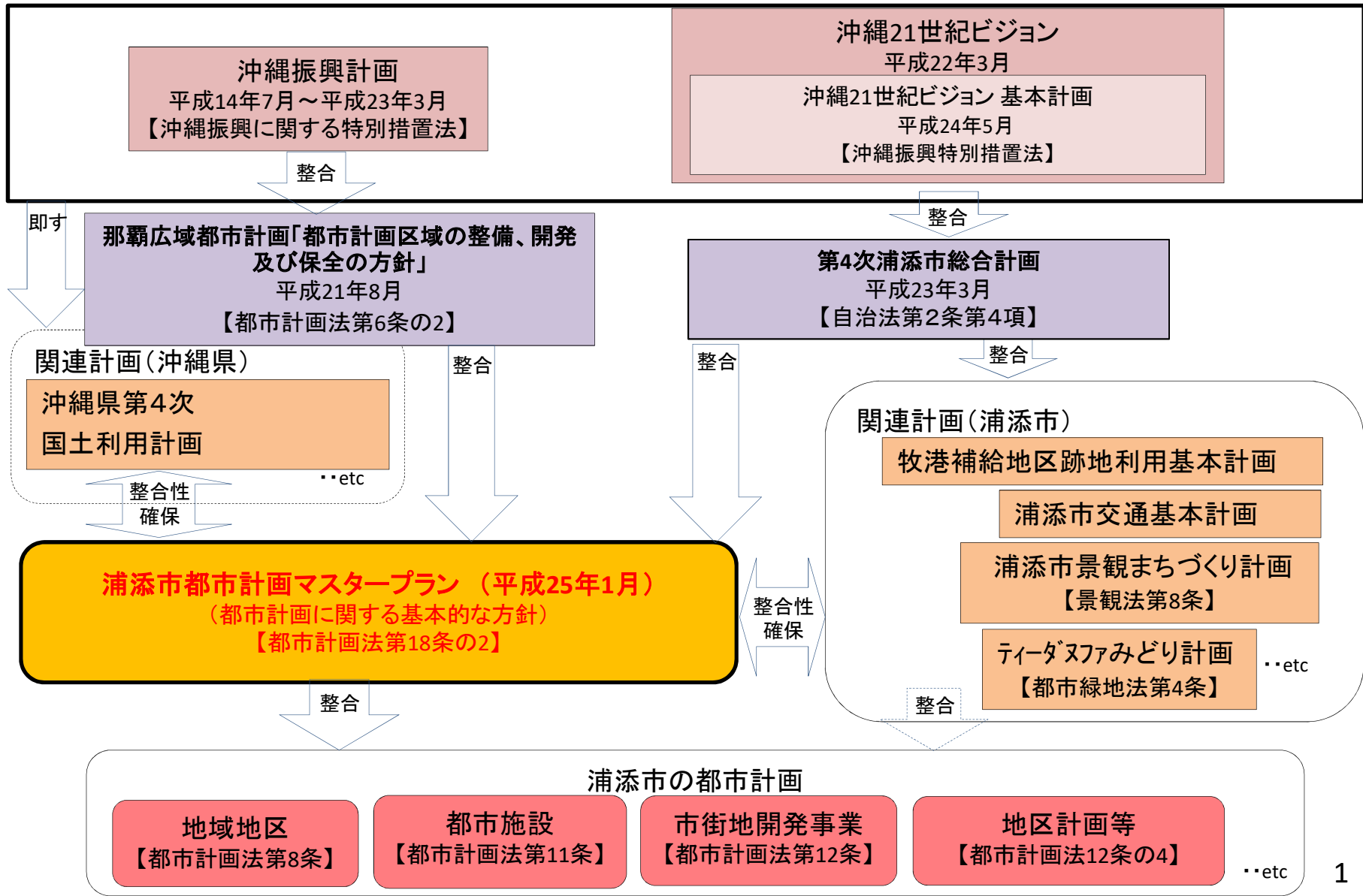


# 浦添市の将来像の実現に向けて

～太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市～

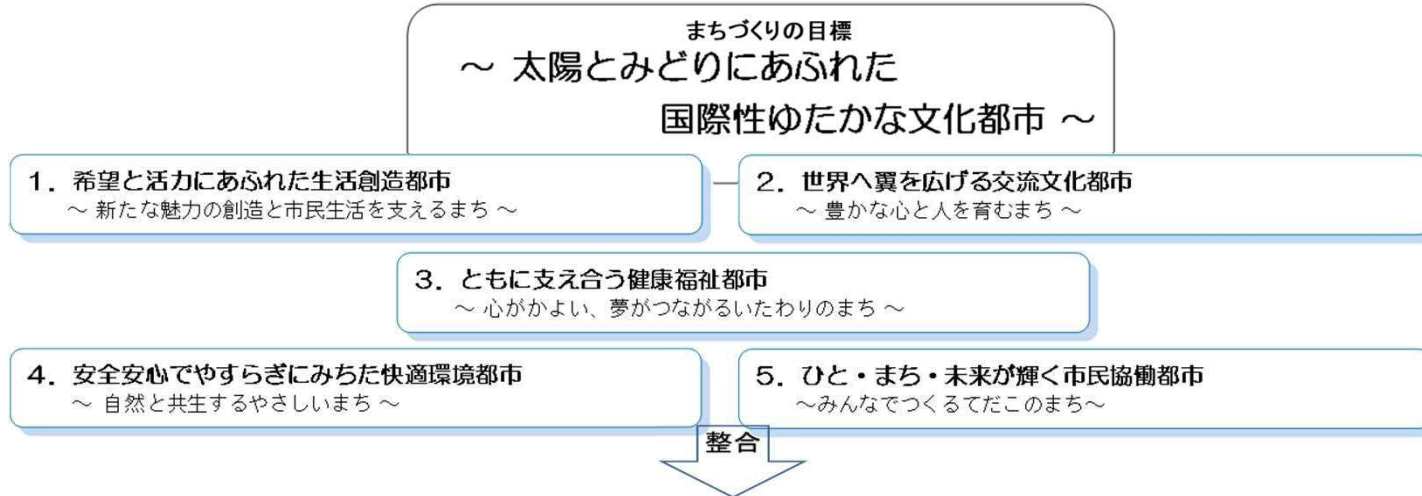
1. 上位計画、関連計画について	.....P1
2. 浦添市の総合計画と都市計画マスタープランの関係について	.....P2
3. 浦添市の景観計画及び交通計画について	
(1)浦添市景観計画について	.....P5
(2)浦添市交通計画について	.....P6
(3)浦添市跡地利用計画について	.....P7
4. 浦添市の今後の土地利用の考え方	
(1)土地利用の方針について	.....P8
(2)土地利用状況図	.....P9
参考：令和元年度那覇広域都市計画区域における区域区分検討協議会(市作成資料)	
5. 浦添市の将来像の実現に向けて	
(1)浦添市の近年の社会的動向	.....P10
(2)社会的動向等を踏まえた浦添市の今後の方向性	.....P11
(3)浦添市の将来像の実現に向けた実現方策	.....P12

# 1. 上位計画、関連計画について



## 2. 浦添市の総合計画と都市計画マスタープラン等の関係について

第4次浦添市総合計画(計画期間:平成23年度-平成32年度)



### 浦添市都市計画マスタープラン(平成25年1月改定)

#### 都市づくりの理念

第4次浦添市総合計画(以下「総合計画」という)は、その基本理念を人間尊重、自立、平和とし、「てだこの都市(まち)・浦添」を理想都市像としている。これは、全ての市民が太陽のように光輝く、活力あふれる平和で豊かな住み良いまちの実現を目指し、掲げたものである。都市計画マスタープランでは、これらを踏まえて、都市づくりに関わる理念を以下の5つとする。

1. 『先代から受け継いだ歴史・文化遺産を守り育て継承する。』	2. 『優れた自然環境を保全育成し、豊かな都市環境形成に向けて活用する。』	3. 『住、商、工、観光、交流など高次機能を備えた都市への成長を図る。』	4. 『住民が誇りと愛着をもてる街づくりを推進する。』	5. 『全ての人に優しく安心して住める街づくりを推進する。』
---------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------	--------------------------------

#### 将来都市像

都市計画マスタープランにおける将来都市像は、これまで本市の総合計画で示されてきたまちづくりの目標「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」を踏襲するとともに、4つの将来像を明示し、その実現に向けて各施策を展開するものとする。

①まちなみに優れ歴史の薫る文化都市	②緑・海・川など自然にあふれた環境調和都市	③活気にあふれた産業・交流都市	④安心安全で安らぎに満ちた快適安全都市
-------------------	-----------------------	-----------------	---------------------

# 2. 浦添市の総合計画と都市計画マスタープラン等の関係について

## まちづくりの課題（第Ⅰ章）

【カッコ内アルファベットは現況・動向との対応を示す】

- ① **ひとにやさしい都市基盤の形成** 【B, D, E, G, M】
  - ・公共交通網の整備
  - ・歩道者空間や公共施設のバリアフリー化
  - ・地域コミュニティの再構築
- ② **西海岸における広域拠点の形成** 【A, C, D, H, J, L】
  - ・西海岸開発地区の拠点の形成
  - ・広域的なネットワークの形成
- ③ **牧港補給地区跡地利用の推進** 【C, D, I】
  - ・跡地利用事業の推進
- ④ **安全で利便性の高い道路交通体系の確立** 【G, I, J】
  - ・狭隘道路や歩道の不足等の解消
  - ・広域的な道路交通網の整備促進
  - ・モノレール整備促進と誰もが移動しやすい公共交通網の充実
- ⑤ **モノレール駅周辺における新たなまちづくりの検討** 【D, E, G, M】
  - ・利便性の高い交通結節拠点、周辺市街地への展開
- ⑥ **歴史環境・伝統文化の保全・整備・活用** 【K】
  - ・歴史文化を活かした景観形成とまちづくりを推進
  - ・ウラオソイ廻廊プランに基づいた歴史廻廊等の整備
- ⑦ **浦添都市軸の形成** 【G, M】
  - ・県道浦添西原線の拡幅および良好な沿道景観の形成
  - ・賑わいの創出
- ⑧ **公園・緑地の整備推進** 【H, J, M】
  - ・市民の憩いの場として公園・緑地の整備推進
  - ・防災機能、レクリエーション機能など公園の質の向上
- ⑨ **中心市街地活性化** 【C, D, M】
  - ・屋富祖など、中心市街地の活性化
- ⑩ **自然環境の保全** 【A, D, G, J】
  - ・緑地、河川、海浜など自然環境の保全と再生
- ⑪ **循環型・低炭素社会の構築** 【A, D, G, J】
  - ・公共交通中心、コンパクトな市街地の形成
  - ・ごみの減量化と廃棄物の適正処理
- ⑫ **災害に強い都市の形成** 【A, F, G, H, I, J, M】
  - ・津波対策、避難路、避難場所の確保、避難体制の強化
- ⑬ **国際的な交流機能の充実** 【J, L】
  - ・国際化・情報化への対応
  - ・国内外の航路ネットワークを有した港湾整備
  - ・JICA沖縄センターを通じた国際交流の促進
- ⑭ **密集市街地の改善** 【D, F, G, J】
  - ・狭隘な生活道路、袋小路の解消等、快適な住環境整備
- ⑮ **基地の適正な規制誘導** 【D】
  - ・民間基地開発の適正な規制誘導
- ⑯ **市民参加による協働のまちづくりの推進** 【M】
  - ・市民の地域コミュニティ活動に対する支援の充実
  - ・協働によるまちづくりの推進

## 将来都市像（第Ⅱ章）【カッコ内数字は課題との対応を示す】

まちづくりの目標：『太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市』

都市の将来像

1. まちなみに優れ歴史の薫る文化都市【5、6、7、10、16】
2. 緑・海・川など自然にあふれた環境調和都市【8、10、11】
3. 活気にあふれた産業・交流都市【2、3、4、5、9、13、14】
4. 安心安全で安らぎに満ちた快適環境都市【1、4、12、15、16】

## 将来都市構造（第Ⅱ章）【カッコ内数字は課題との対応を示す】

土地利用ゾーン	都心ゾーン	浦添城跡から国道58号に至る浦添西原線沿いは、ヒト・モノ・情報が行き交う浦添市の顔として、それぞれの拠点整備を図る【1、4、7、8、9、10、15】
	カオソイ文化交流ゾーン	浦添城跡、伊祖城跡、浦添大公園一帯の歴史・文化拠点、沖縄国際センターを中心とし、さまざまな市民活動が展開する交流空間として整備する【1、6、7、8、13、15】
	生産ゾーン	港川から牧港の臨海部については、工業と水産業の双方の調和ある発展や周辺住環境との共生を図る【1、2、4、10、12、15】
	リゾート・レクリエーションゾーン	浦添ふ頭コースタルリゾート地区として位置づけられ、アーバンリゾート空間の形成を図る【1、2、7、8、10、12、13】
	港湾・流通情報ゾーン	浦添ふ頭の拡充を図り、人、物、情報等多様な交流が促進されるゾーンの形成を図る【2、4、7、12、13】
主要都市機能の配置	新都市形成ゾーン	牧港補給地区の返還を促進し、西海岸理立区域等と連携した本市のまちづくりを牽引する地域として新都市の形成を図る【1、3、4、7、9、10、12、14、15】
	交流ゲートゾーン	(仮称)浦西駅周辺は、沖縄自動車道との交通結節点としての利便性を活かした都市機能の展開を図る【4、5、7】
	学習交流拠点	各種行政サービスや文化活動を行える、快適で利便性の高い学習交流環境を整備する【7、15】
	商業・業務拠点	浦添都市軸と国道58号で構成され、商業と業務が共存する複合型の都市形成を促進する【7、9、11、14】
	歴史・文化拠点	浦添大公園、浦添城跡や伊祖公園一帯は、史跡と緑地空間を活かし、歴史文化を学ぶ場として整備・活用する【6、8、10、15】
都市の軸	国際交流拠点	JICA沖縄センターを中心に、各国文化の総理解と人的交流が日常的に展開されるゆとりのある空間の確保を図る【13】
	文化交流拠点	国立劇場おきなや浦添市産業振興センター・結の街などが立地し、浦添市民の文化活動・交流活動拠点の形成を図る【2、6】
	総合交通拠点	(仮称)浦西駅と沖縄自動車道とを結ぶ交通結節拠点を形成する【4、5、7、11】
	複合交流拠点	牧港補給地区跡地利用計画を先導する商業・業務の集積を図る【2、3、7】
	暮らしの交流拠点	国道58号屋富祖交差点付近は、生活利便施設や住宅等が集積した暮らしの拠点の形成を図る。【3、7、9、14】
浦添都市軸	環境学習拠点	カーミーゼや空寿崎周辺は、豊かな海浜環境を活用し、環境学習の場や市民の憩いの空間の形成を図る。【8、10】
	浦添都市軸	県道浦添西原線から浦添ふ頭地先に至る浦添都市軸は、本市の顔となるシンボルロードとして整備する【7】
	広域都市軸	国道58号、国道330号、沖縄西海岸道路等の南北軸及び、港川道路からサンパーク通り、浦添西原線に至る東西軸の整備を促進する【4】
	環状軸	環状道路は、整備を促進し市民の利便性の向上を図る【4、5】
	軌道交通軸	沖縄都市モノレールの延長路線は、主要拠点などを結ぶ新たな広域公共交通軸の形成を図る【4】
都市の軸	歴史・文化軸	県道153号線は「琉球歴史廻廊」としての活用を基本に、歴史文化の交流を通して浦添市の活性化への寄与に努める【6】
	水と緑の環境軸	市民の生活を優しく包み込むクサティ森を保全・育成するとともに、公園、河川の緑化など、水と緑のネットワークを形成する【8、10】

## まちづくり部門別方針（第Ⅲ章）

1. 土地利用の方針
2. 市街地整備の方針
3. 道路交通の方針
4. 下水道・河川の方針
5. 自然環境の保全、都市環境の形成の方針
6. 景観形成の方針
7. 防災まちづくりの方針
8. 福祉のまちづくりの方針
9. その他まちづくりの方針

## まちづくり地域別方針（第Ⅳ章）

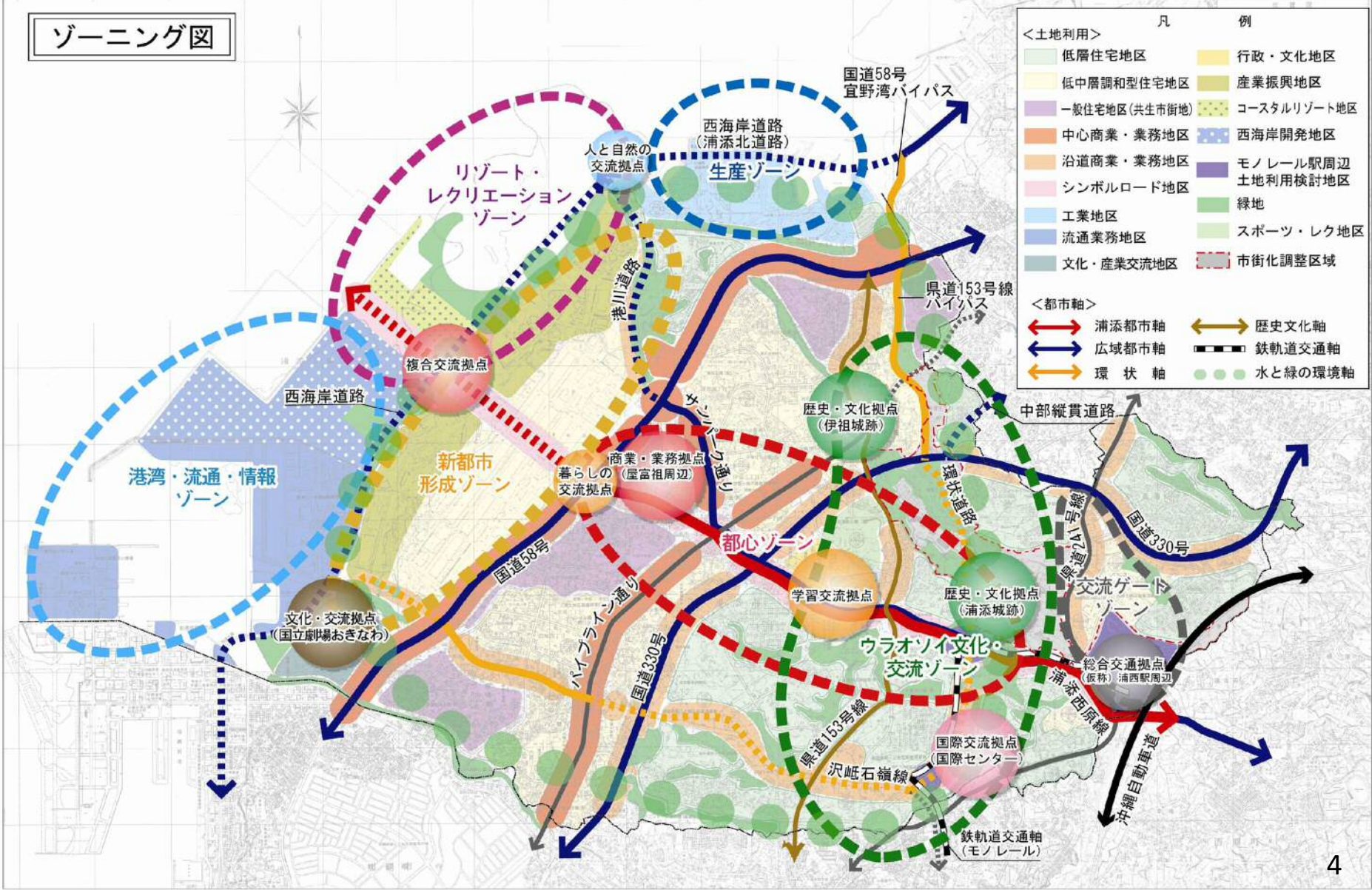
1. 北地域まちづくり方針
2. 中央北地域まちづくり方針
3. 東地域まちづくり方針
4. 中央南地域まちづくり方針
5. 中央西地域まちづくり方針
6. 南地域まちづくり方針
7. 西地域まちづくり方針
8. 新都市形成地域まちづくり方針

## 景観の実現に向けて（第Ⅴ章）

1. まちづくりに対する社会的要請
2. 今後のまちづくりの進め方
3. 都市計画マスタープランの活用
4. 都市計画マスタープランの進行管理と見直し

## 2. 浦添市の総合計画と都市計画マスタープラン等の関係について

ゾーニング図



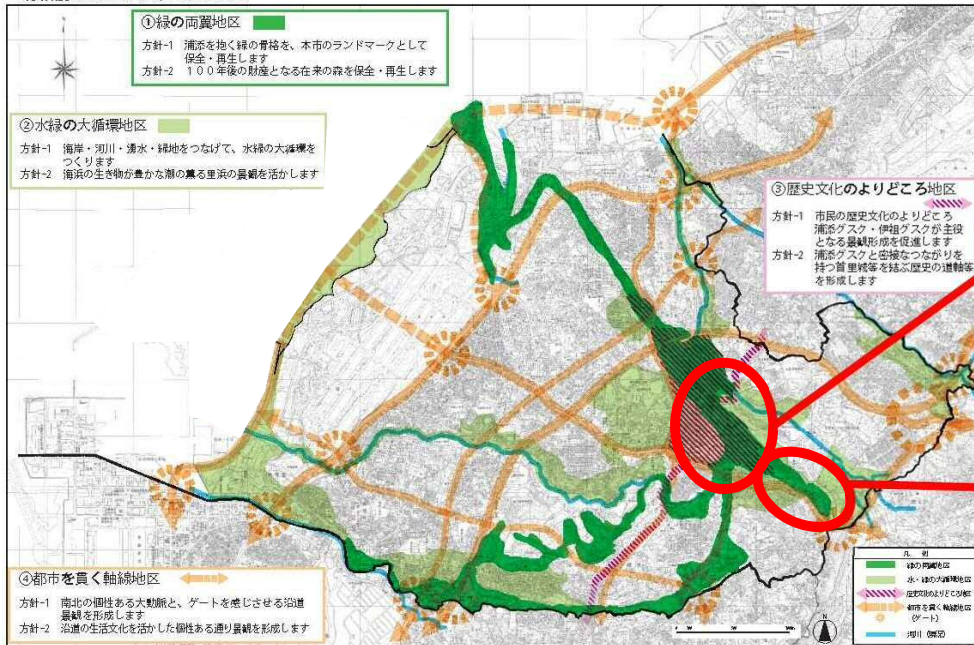
# 3.浦添市交通基本計画及び景観まちづくり計画について

## 浦添市景観まちづくり計画

浦添市景観計画の基本理念：**てだこ市民によるウラオソイ風景づくり**

- ① てだこ市民が率先して取り組む協働の景観まちづくり
- ② てだこまちの緑と水辺と微地形を生かした景観まちづくり
- ③ てだこ市民の心を結ぶ歴史文化の薫景観まちづくり
- ④ てだこまちの活力と国際性を活かした景観まちづくり

■骨格別景観まちづくりの方針図



- ① 歴史性を感じさせる街並みを形成する
- ② グスクが感じられる街並みとする
- ③ 歩いて楽しい賑わいある街並みを創出する

# 3.浦添市交通基本計画及び景観まちづくり計画について

## 浦添市交通基本計画 (浦添市全体の将来のまちづくり実現を交通の分野で支える将来計画)

### 目的

既存公共交通システムや地域との連携を図るとともに、民間活力を活用した取組とすることで、自立した持続可能な都市型地域公共交通システムを構築し、浦添市総合交通戦略（H25）で掲げた平成18年度時点の公共交通分担率3.5%を、令和5年に8.1%、令和12年には10.0%まで増加させる事を目標とする



## 浦添市総合交通戦略 (将来計画の実現に向けて、5~10年で取り組む施策)

行政事業として実施

民間事業と連携して実施

### 支線公共交通等

広域的な公共交通と地域の支線公共交通を連携するため、

- ・ルート型のコミュニティバス
- ・デマンド型コミュニティバス
- ・交通結節点の整備

を検討し、実施につなげていく。

【現在の取り組み】

支線公共交通実証実験実施  
(デマンド型コミュニティバス)  
(R2.11.1~R3.10.31)

### 歩行者・自転車ネットワーク

自転車や歩行者、自動車に安全で快適に通行できる空間を確保し、自転車の利用促進を図る自転車空間環境創出を目指す。

- ・H26 自転車ネットワーク計画策定
- ・H27 レンタサイクル実証実験実施

【現在の取り組み】

シェアサイクル事業の実施  
(民間事業との基本協定締結)  
R2.11.19~)

### 生活道路ゾーン対策

安全な交通環境の創出に向けて、教育委員会及び道路管理者と連携し、

- ・生活空間における通過交通の排除
- ・児童生徒のための通学路の安全確保を目指す。

【現在の取り組み】

浦添市通学路交通安全プログラムPDCA  
(H24~年2回実施)

### モビリティ・マネジメント(MM)

市内全小学校において、ICTと副読本を活用した交通環境学習体系を構築し、授業の一環で普及できる仕組みづくりを行うことで、将来あらゆる移動場面において公共交通利用を選択する人材の育成へ繋げる。

【現在の取り組み】

浦添市ICT & 副読本を活用した交通環境学習事業  
(エコモ財団資金.R元~R3)



## 跡地利用 基本計画図

本地区や浦添市の「交流・発展」を重視しつつ、「安全・安心」や「自然環境」にも留意したまちづくりを目指します。

本地区の跡地利用に向け、平成21年度に策定した基本構想を基に、構想を具現化するための方向性である「牧港補給地区跡地利用基本計画」を策定しました。この基本計画をできるだけ多くの方々に知っていただいたうえで、今後、返還後の事業化に向けた具体的な取り組みをみなさんと一緒に進めていきたいと考えています。

### 産業振興 地区のイメージ

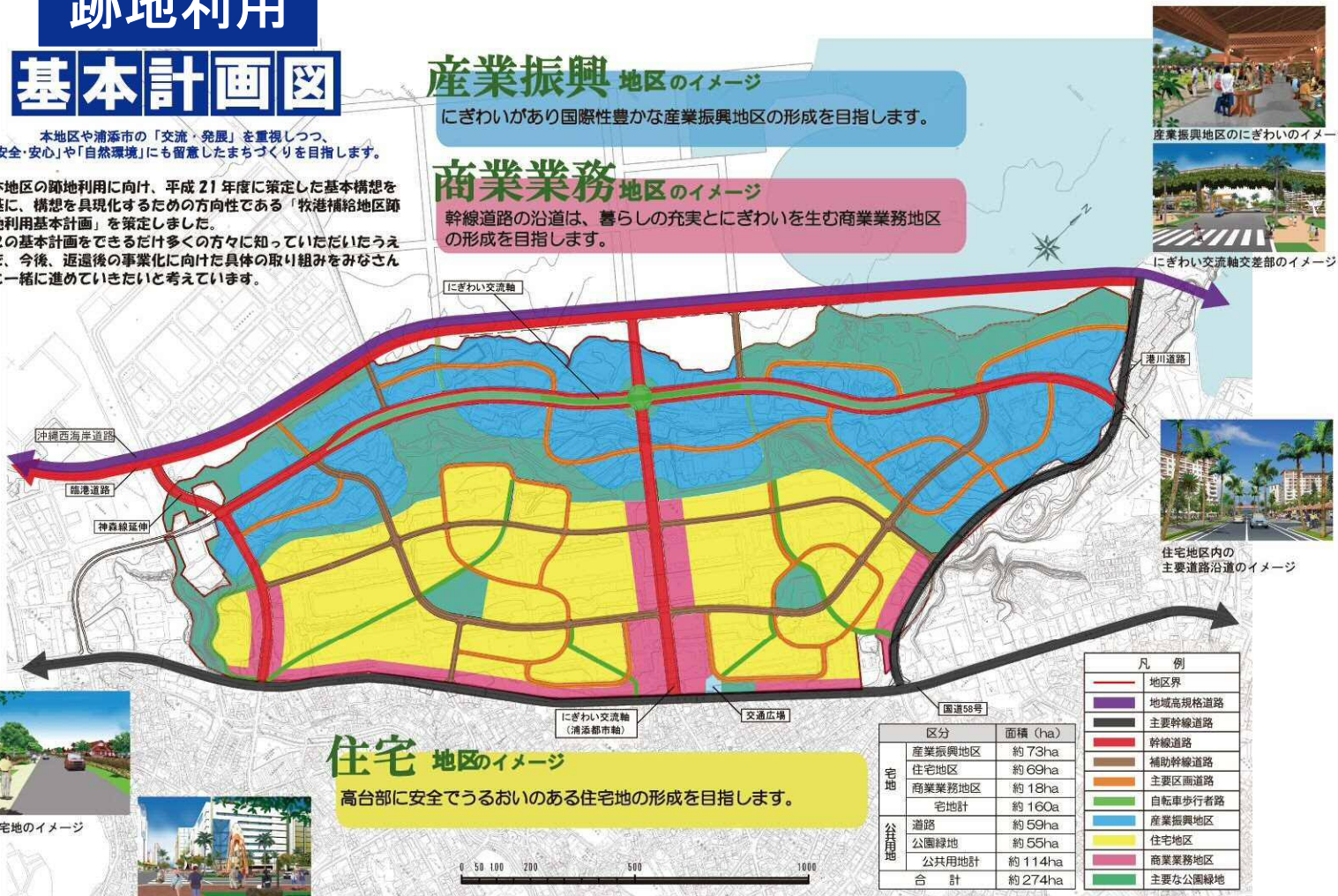
にぎわいがあり国際性豊かな産業振興地区の形成を目指します。

### 商業業務 地区のイメージ

幹線道路の沿道は、暮らしの充実とにぎわいを生む商業業務地区の形成を目指します。

### 住宅 地区のイメージ

高台部に安全でうるおいのある住宅地の形成を目指します。



凡 例	
[Red line]	地区界
[Purple line]	地域高規格道路
[Black line]	主要幹線道路
[Red line]	幹線道路
[Brown line]	補助幹線道路
[Orange line]	主要区画道路
[Green line]	自転車歩行者路
[Blue area]	産業振興地区
[Yellow area]	住宅地区
[Pink area]	商業業務地区
[Green area]	主要な公園緑地

区分	面積 (ha)
産業振興地区	約 73ha
住宅地区	約 69ha
商業業務地区	約 18ha
宅地計	約 160a
道路	約 59ha
公園緑地	約 55ha
公共用地計	約 114ha
合 計	約 274ha





# 浦添市 4.浦添市の今後の土地利用の考え方

## (1) 土地利用の方針について

### まちづくり部門別方針

#### 1. 土地利用の方針

今後の土地利用の展開に向けては、都市形成の経緯や現状および将来の位置づけをふまえて、安らぎのある住宅地、利便性の高い中心市街地、活力を生み出す産業用地など、それぞれの都市機能が、歴史・文化資産や水・緑などの自然的環境と調和し、総合的にバランスのとれた都市空間の形成を目指すものとする。

また、牧港補給地区跡地利用や、那覇港港湾計画に基づく公有水面埋立事業など、西海岸部の新市街地については、本県の海の玄関として、広域的な位置付けや人口密度構成のあり方を視野に入れた適正な土地利用を検討するとともに、沖縄都市モノレールの整備と連携して各拠点形成などを図り、東西を横断する本市の都市軸の強化を推進します。



※図形は一部修正

## (2) 今後の土地利用の考え方

### 2030年(10年後)の土地利用の考え方

#### 【保全すべき主な区域】

- ・浦添大公園周辺
- ・牧港補給基地近くのシリンカー周辺

#### 【保全手法(案)】

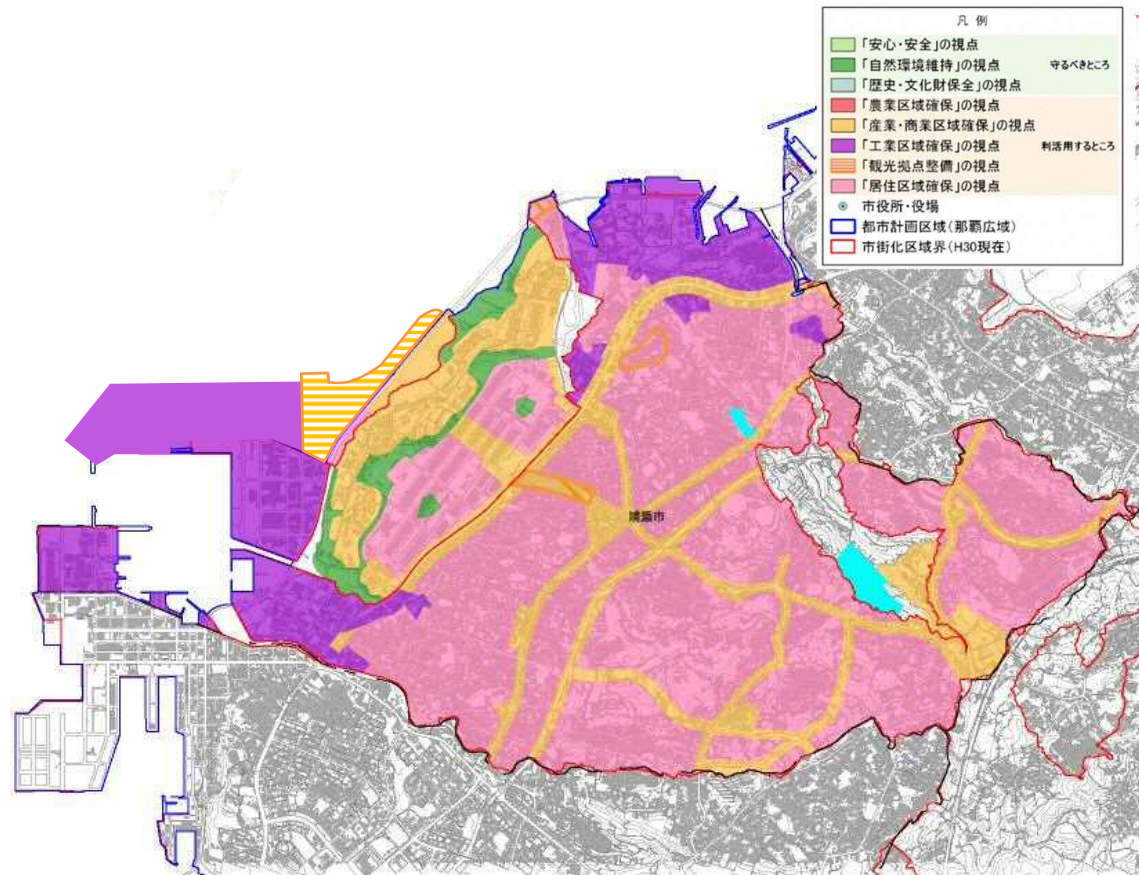
- ・都市公園法による公園区域等の指定

#### 【利活用する主な区域】

- ・牧港補給地区
- ・那覇港(浦添ふ頭コースタルリゾート地区)

#### 【開発手法(案)】

- ・公有水面埋立事業
- ・市街化区域編入



※ 令和元年度 那覇広域都市計画区域における区域区分検討協議会(第2回委員会)資料



## 浦添市 5. 浦添市の将来像の実現に向けて

### (1) 浦添市の近年の社会的動向

#### ①人口動向

全国的に人口減少下にある中で、本市の人口は増加傾向が続いており、2030(令和12)年には、概ね12万1千人を見込んでいます。

一方で、年齢3階級別人口は、年少人口と生産年齢人口は減少し、老年人口が増加をしていく見通しです。

#### ②産業振興

本市は、地理的好条件や都市基盤の整備等により、多くの企業が立地しており、特に沖縄県卸売商業団地や国道58号沿線には県内の有力企業が立地し、本市のみならず本県の経済を支える役割を担っています。

一方で、小規模事業者も多く、浦添商工会議所等の関係機関と連携して支援活動を行う必要があり、「浦添市中小企業・小規模企業振興基本条例」、「浦添市産業振興ビジョン」に基づき、取り組みを推進しています。

#### ③道路・交通体系の状況

本市の道路の整備については「道路整備プログラム」に基づき事業を展開しており、土地区画整理事業等の他事業と連携して、整備を進めています。また、主要な幹線道路については、国道58号の拡幅事業や既に暫定供用されている沖縄西海岸道路浦添北道路及び県道浦添西原線の整備が進められています。

都市交通については、コミュニティバス等の実証事業等、新たに開業した沖縄都市モノレールの3駅(経塚駅、浦添前田駅、たご浦西駅)と結節した公共交通の充実を図る取り組みを実施しています。

#### ④牧港補給地区

本市の西に位置する牧港補給地区は、市面積の約14%を占めており、「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、返還が、「2024年度又はその後」、「2025年度又はその後」に予定されていると示されており、基地返還後の円滑な整備をめざし、土地の先行取得事業を進めるとともに、地権者との合意形成を図りながら、国や沖縄県と連携して、跡地利用計画を推進しています。



## 浦添市 5. 浦添市の将来像の実現に向けて

### (2) 社会的動向等を踏まえた浦添市の方向性

#### “東部地域は環境未来都市へ”

てだこ浦西駅を核とした地域を中心に、IT や環境技術などの先端技術を駆使して、基礎インフラと生活インフラ・サービスを効率的に管理・運営し、環境に配慮しながら、人々の生活の質を高め、継続的な経済発展を目的とした新しい都市・環境未来都市を目指します。

- ・てだこ浦西駅周辺地区につきましては、総合交通結節点機能を活かした本市の東の玄関口として、組合施行による土地区画整理事業の早期整備とともに、分散型エネルギーシステムの導入によるスマートシティを目指し、引き続き魅力あふれる市街地整備を進めていきます。
- ・南第一及び南第二地区土地区画整理事業につきましては、快適で安らぎに満ちた都市環境を創出するため、引き続き整備を推進していきます。
- ・経塚駅に隣接する経塚公園につきましては、パークマネジメントを核とするまちづくりを市民協働及び公民連携により行っていきます。
- ・浦添前田駅周辺地区につきましては、良質な住環境への誘導を図るとともに、引き続きモノレール駅を中心とした魅力ある市街地整備を進めていきます。

#### “西部地域は未来創造都市へ”

宝石の原石とも言える広大なキャンプ・キンザー跡地と、豊かな自然海域が残る西海岸海域の開発のあり方については、物流やリゾートなどの民港整備や軍港移設とどのように整合性を図っていくのかといった課題を踏まえつつ、一体的開発による市益の最大化を目指します。

- ・コースタルリゾート地区につきましては、那覇港管理組合が進めております那覇港港湾計画の改訂において、世界水準の観光リゾート地の形成に向け取り組んでいきます。
- ・牧港補給地区につきましては、基地返還後の円滑な整備を目指し、土地の先行取得事業を実施するとともに、地権者との合意形成を図りながら、国や沖縄県と連携し、跡地利戻計画を推進し、西海岸との一体的開発による市益の最大化を図り、持続可能な社会の構築に向けて取り組んでいきます。
- ・交通渋滞緩和を図るべく、国道58号浦添拡幅事業並びに既に暫定供喚されている沖縄西海岸道路浦添北道路及び県道浦添西原線(港川道路)の完成形での早期整備を促進していきます。

(3) 浦添市の将来像の実現に向けた実現方策

